

公認バレーボール指導員

養成目的と役割	養成目的: 地域スポーツクラブ(スポーツ少年団など)やサークルにおいて、初心者や子どもたちを対象にバレーボールの基礎的実技指導にあたる指導者を養成する。 役割: 発育発達期の子どもたちに対し、競技者育成プログラムに則り、様々な運動経験と遊びを通じた身体づくりと動きづくりを主眼においた指導にあたる。				
受講条件	年齢: 受講年度の4月1日現在満18歳以上 スポーツクラブ等においてバレーボールの指導にあっている者 または、これから指導者になろうとする者				
区分	カリキュラム内容			時間数	
				集合	その他
種目の特性に応じた 基礎理論	1	日本のバレーボールの現状と今後のバレーボールの展開	0h	2h	2h
	2	日本バレーボールの歴史	2h	0h	2h
	3	初心者導入法	2h	0h	2h
	4	バレーボールの技術論(攻撃・守備)	2h	0h	2h
	5	6・9人制のルール	2h	0h	2h
	6	ビーチバレーボールの指導法と大会運営	2h	0h	2h
		計		10h	2h
実技	1	体力測定実習	0h	2h	2h
	2	バレーボールに必要な体カトレーニング	2h	0h	2h
	3	基本フォーメーション(6・9人制)	4h	0h	4h
	4	基本技術実習(攻撃)	3h	0h	3h
	5	基本技術実習(守備)	3h	0h	3h
	6	練習における管理及び組織化	0h	2h	2h
	8	救急法実習	2h	0h	2h
	9	マッサージ実習	0h	2h	2h
		計		14h	6h
指導実習	1	ウォーミングアップとクーリングダウン実習	1h	0h	1h
	2	基本技術(攻撃・守備)の指導実習	3h	0h	3h
	3	バレーボール及びソフトバレーの初心者指導実習	0h	2h	2h
	4	練習計画の立案	2h	0h	2h
		計		6h	2h
			30h	10h	40h